

第4回

高校生による 岡山の歴史・文化研究フォーラム



「備中国分寺 五重塔とコスモス」

写真提供：河西久男氏

日 時 2018年11月25日(日) 9:00~17:20

場 所 さん太ホール(山陽新聞社)

■主催: Rotary  岡山北西ロータリークラブ (国際ロータリー第2690地区 第9グループ)

■後援: 岡山県・岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山陽新聞社・朝日新聞岡山総局・毎日新聞岡山支局
NHK岡山放送局・KSB瀬戸内海放送・OHK岡山放送・RNC西日本放送・RSK山陽放送
TSCテレビせとうち

(アルファベット音順)



開催にあたって

岡山北西ロータリークラブ

会 長 竹 本 千代子

2014年に第1回が開催されました「高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」も、今年で4回目を迎えます。今回も、大勢のみなさまがご参加くださいましたこと、心より御礼申し上げます。

このフォーラムは、青少年の奉仕活動の一環として、歴史から学ぶ視点を育てようという目的で、岡山北西ロータリークラブの独自事業として企画し、ご賛同くださった多くのみなさまのお力をいただいて実現してまいりました。

これまでにいかに実り多い発表の数々があったことか。研究成果を聞かせていただく度に、岡山がいかに素晴らしいふるさとであるのか、古代から近代までいかに興味深い歴史が秘められているのか、考えさせられることばかりでした。

みなさまの発表の中には、歴史文化をふり返って深く調べたというだけでなく、地域活性化の種や観光振興の起爆剤がきら星のごとく輝いています。レベルの高い発表内容、発表方法を見せていただく度に、何より人財というすばらしい宝が、岡山の地でいきいきと学び、活動してくださっているのだと、感激いたしております。

まさに、これからの岡山の歴史を築いて行くみなさまです。今回も、みずみずしい視点、大胆な発想で、みなさまと同じように先人が情熱を持って築き上げた岡山の歴史文化をご紹介いただきたいと存じます。

基調講演をいただく國友道一先生をはじめ、審査を引き受けてくださった諸先生に、この場をお借りして御礼申し上げます。また、ご後援をいただきました岡山県・岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山陽新聞社等の各メディア、そしてご参加いただいた各高校・中学校の先生方には、本事業の趣旨をご理解いただき、ご支援・ご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

みなさまのおかげで、またすばらしい歴史・文化の世界が広がります。本日の出会いに心から感謝いたします。

審査員 (敬称略)

國友 道一 氏	(公益財団法人 特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会 理事長)
三浦 隆志 氏	(岡山県立林野高等学校 校長)
谷本 昌敏 氏	(OHK岡山放送 常勤顧問)
清水 玲子 氏	(山陽新聞社 編集局文化部 部長)
堀川 辰也 会員	(岡山北西RC)

以上 5名

スケジュールのご案内

開 会

開会挨拶

岡山北西ロータリークラブ会長 竹本 千代子

ロータリーについて

ロータリー財団委員長 横山 俊彦

◆ 基調講演 ◆

「現代に生きる論語の教え」

公益財団法人 特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会 理事長 國友 道一 氏

◆ 歴史研究発表 ◆

1. 岡山県におけるミツバチ飼育の歴史と魅力 岡山県立高松農業高等学校 ミツバチ研究グループ
2. 日本の経済成長の秘密を知る旅プロデュース 金光学園高等学校 人文学ゼミ 日本遺産チーム
3. うちのマステ 岡山龍谷高等学校 選択選抜コースB
4. 備前焼の"美"～利休が求めたココロのカタチ～ 岡山県立瀬戸南高等学校 歴史だいすき その2
5. ～過去から学ぶ～真備の災害の歴史と防災 岡山学芸館高等学校 英語科1年
6. 吉備津神社の秘密～弓道部の試合で感じた気配～
岡山県立岡山工業高等学校 建築科3年弓道部四人衆
7. 「Come on , people ! 」 岡山県立操山中学校
8. 武蔵の生誕地「播磨?美作?」 岡山県立林野高等学校
MDP文化や歴史グループ(宮本武蔵チーム)

昼食休憩 ～45分～ ※20階レストランには、会員がご案内致します。

9.だんじり祭りと地域コミュニティの持続可能性について

岡山県立勝山高等学校 KDGs

10. 禅宗文化紹介と特産デニムの記念品作り修行 金光学園高等学校 人文学ゼミ
11. 竹喬美術館 ～笠岡画家の軌跡～ 岡山龍谷高等学校 選択選抜コースA
12. 浦上玉堂～江戸のスナフキンの実像に迫る～ 岡山県立瀬戸南高等学校 歴史だいすき その1
13. 国宝山鳥毛の里帰りプロジェクト 清心女子高等学校 チーム山鳥毛
14. 美作市海田地区の茶生産 岡山県立林野高等学校

MDP文化や歴史グループ(お茶チーム)

審査休憩 ～30分～

審査発表&表彰

フォーラム実行委員長 仲田 錠二

講 評

審査員

閉会挨拶

岡山北西ロータリークラブ副会長 山下 浩一

★参加高校生・指導者・ロータリークラブ会員全員による写真撮影★

閉 会

○ 基 調 講 演 ○



演 題 「現代に生きる論語の教え」

公益財団法人 特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会

理事長 國友 道一 氏

講演内容の要旨

『論語』は、孔子や弟子の言葉や行動の記録を集めた書物です。孔子が生まれたのは紀元前550年ころで、当時の中国は春秋時代という戦乱の世の中でした。孔子は早く両親を亡くし、寂しい少年時代を送りました。「吾十有五にして学に志す」という言葉を残しているように、学ぶことをとおして自分の人生を切り拓こうとしました。当時の「学ぶこと」とは、知識や教養を身に付けるとともに、それを基にして人としてどう生きるべきかを考え実践する態度を養うことでした。

『論語』は、四世紀に日本に伝わったと言われていますが、広く国民に普及したのは江戸時代になってからです。江戸時代に『論語』が普及した背景には、幕府の政権安定のために好都合であったことがあります。一方では『論語』をはじめ儒教の経典は、寺子屋や藩校などで広く教材として使用され、日本人の学力向上や人格形成などに大きな役割を果たし、明治以降の近代化につながった点も忘れてはなりません。その一つの例として、近代の日本を代表する実業家渋沢栄一が、自分の経験や生活信条を重ね合わせて『論語と算盤（そろばん）』を著しました。これは経済的利益の追求と人としての正しい生き方の両立を説いた本です。

明治時代になって、『論語』をはじめ儒教の教えに対して賛否が議論されたこともありましたが、現在はこのような過去のしがらみから解放され、『論語』の教えに正面から向き合える時代になりました。次代を担う高校生の皆さん方には、日本人の考え方を形成した大きな柱の一つである『論語』の教えを学び、これからの人生に活かしてほしいと思っています。孔子の中心的な教えである「仁（おもいやり）」、「礼（礼儀ただしさ）」、「信（誠実な態度）」などは時代に関係なく、人として身に付けておくべき大切な態度です。

講師紹介 ○経歴 昭和24年岡山県生まれ

岡山大学卒業後、岡山県内の公立高等学校の英語教師を務める

平成14年 4月 岡山県立備前東高等学校校長

平成15年 4月 岡山県立和気閑谷高等学校校長

平成18年 4月 岡山県立岡山操山高等学校校長

平成21年11月 教育者文部科学大臣表彰受賞

平成22年 3月 公立高等学校退職

平成22年 4月 公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会事務局長

岡山県青少年教育センター閑谷学校長所長

平成29年 4月 公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会理事長